

## 第1章 都市ビジョンの位置付け

市政戦略編は、第6次小牧市総合計画新基本計画において、長期的展望に立ち、市として何に機軸をおきまちづくりを進めていくのか、その基本となる考え方を示し、今後のまちづくりの指針・羅針盤とするものです。

市政戦略編では、「こども夢・チャレンジNo.1都市」「元気創造都市」「支え合い共生都市」の3つの「都市ビジョン」をまちづくりの機軸として掲げます。

これら3つの機軸をどのような考え方あるいは方策に基づき実現していくのかを示した「戦略」と、戦略の具体的な実行手段の核となる重点事業を示します。

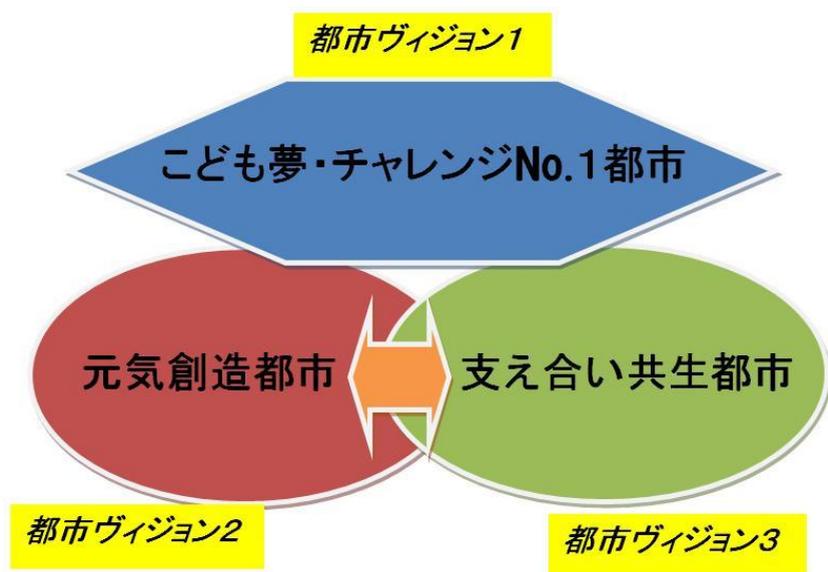


図 都市ビジョンの体系

## 都市ビジョン1 『こども夢・チャレンジ No.1 都市』

市内外からの小牧市に対する認識が深まり、地域のブランドイメージが向上することで、市民の愛着や誇りが醸成されている都市を目指します。

そのため、夢やチャレンジの象徴であり、次代の地域を担うこどもたちのさまざまなチャレンジを地域全体で応援する都市を目指します。

## 都市ビジョン2 『元気創造都市』

『元気創造都市』とは、市が市民の元気づくりを応援し、逆に市民の力で創り出された無数の元気の源がつながり合い「まちの元気」になること、すなわち「市民の元気」と「まちの元気」が相互に活性化し合いながら、それぞれがさらに大きな元気へと育っていくことをイメージした都市概念です。

市は、地域づくりに市民が活躍する環境を創出することで、市民のさらなる健康づくり・いきがいつくりを応援します。

また、都市の魅力を高め、交流・賑わいを創出するとともに、地域経済を支援し、バランスの良い産業集積を今後も持続的に高めることで、さらに経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを目指します。

市民がさまざまな場面で主体的に活躍できる環境づくりを進め、市民活動や地域自治の充実拡大を通じて、市民の創意工夫によって生み出された元気がつながり合い小牧全体の元気につながる元気好循環のまち『元気創造都市』を目指します。

## 都市ビジョン3 『支え合い共生都市』

『支え合い共生都市』とは、同じまちで同じ時代を共に生きる市民同士がお互いに協力し合い、支え合い助け合って、安全で安心なまちをつくり、いくことをイメージした都市概念です。

言うまでもなく、安全で安心なまちをつくることは市民全ての願いです。しかしながら、これを実現することは決して行政のみの力で成し得るものでは

ありません。家庭・企業・地域など多くの市民の努力と協力があつてこそ成し得るものです。

そこで、市民とともに地域単位での防災・避難訓練や防犯対策の充実などを通じて、災害に強い、犯罪の起こりにくい、安全な地域づくりを進めます。また、年々高齢化する地域にあつて、歳をとつても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、在宅医療・介護の体制等を充実するとともに、地域での災害時の要援護者支援体制の構築をはじめ高齢者等の見守りを強化します。

市民の力と行政の力を結び付け合わせて地域の課題を克服していく地域自治の充実を通じて、地域の支え合い助け合い活動を推進し、暮らしの安心が実現した市民の優しさがあふれる温かいまち『支え合い共生都市』を目指します。

## 第2章 戦略

- 戦略1 こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを  
みんなで応援するプログラムの展開
- 戦略2 次世代成長産業を含む  
バランスの良い産業集積の形成
- 戦略3 在宅医療・介護、見守り体制の構築
- 戦略4 “元気”と“支え合い”の地域循環による  
「都市の活力」と「暮らしの安心」の創造

## ■ 市政戦略編の見方

### 戦略2 次世代成長産業を含む バランスの良い産業集積の形成

『元氣創造都市』の実現に向けた戦略として、次世代成長産業を含むバランスの良い産業集積を持続的に高め、さらに新

#### ◆ 重点事業

##### 重点事業2--1 企

企業立地相談のワ  
地促進制度の充実を図ることも、新たな工業団地の開発や土地利用規制の緩和、用地情報収集など企業誘致の受け皿を整備した上で、積極的な誘致活動を行い、次世代成長産業分野を中心に新規企業を誘致します。

#### 事業の進捗状況を測定するための指標

基準値は、平成24年度の数値を示していますが、基準年次をそれ以外とする場合は、( )書きで基準時点を示しています。

基準値を把握していない指標は「-」としています。

事業の進捗状況を測定するための指標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目標値
							H30
次世代成長産業分野に属する新規企業の累計数	件	0	1				3

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画での 位置づけ
63	企業立地推進事業 【企業立地推進課】	1,240,000	実施	⇒	⇒	基本施策20 展開方向1

#### 戦略を推進する重点事業の具体的な取組み

戦略を推進する重点事業の具体的な取組みとなる事業の名称、計画期間に要する事業費、年度ごとの取組みを示しています。

## 戦略1 こどもの夢を育み、夢へのチャレンジを みんなで応援するプログラムの展開

小牧市の誇る「子育て支援が充実している」姿を一層高めるとともに、さらに高い地域の姿として“こどもの夢を育み、夢へのチャレンジをみんなで応援するまち、こどもを中心に全ての世代がつながっているまち”を目指すことで、全ての世代が暮らしやすい、あたたかい支え合いのまちづくりへとつなげていきます。

### ◆重点事業

#### 重点事業1-1 (仮称)地域こども子育て条例の制定

地域でこどもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援するまちを目指す理念を掲げるとともに、こどもを育て・育つ権利を明確化した条例を制定し、こどもをまちづくりの中心として全ての世代がつながることを明確にします。

※「小牧市地域こども子育て条例」として、平成28年3月議会上程予定です。

## 重点事業1-2 夢・チャレンジ応援制度の創設

『こども夢・チャレンジ No.1 都市』に向けた経済的基盤として、市民、団体、企業からの寄付と行政からの積立金を財源に、こどもたちの夢を育む取組みや、夢へのチャレンジを応援する制度を創設します。

事業の進捗状況を測定するための指標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目標値
							H30
基金に積み立てられた寄付金額	円	60,737,000 (H26年度)	60,737,000				100,000,000

**重点事業1-3 夢を育む環境の創出**

『こども夢・チャレンジ No.1 都市』に向けた地域ネットワークの基盤形成のスタートとして、企業と連携したこども向けの市内産業見学会や市民のノウハウを活かした体験講座を開催するとともに、こどもの視野を広げる国際交流プログラムを実施するなど、こどもの夢を創造し、夢へのチャレンジ精神を育む環境を創出します。

事業の進捗状況を測定するための指標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目標値
							H30
夢育み事業に参加したこどもの数	人	2,969 (H26年度)	2,969				2,600

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画 での位置づけ
34	JFA こころのプロジェクト「夢の教室」開催事業(特色ある学校づくり推進事業) 【学校教育課】	19,000	実施	⇒	⇒	基本施策12 展開方向3
38	市内産業見学会開催事業(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	900	拡充 実施	⇒	⇒	基本施策13 展開方向2
39	コマキッズ ドリームバスギャラリー(こども夢・チャレンジ推進事業) 【こども政策課】	900	実施	⇒	⇒	基本施策13 展開方向2

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画 での位置づけ
40	夢にチャレンジ助 成金支給事業(こ ども夢・チャレンジ 推進事業) 【こども政策課】	5,700	実施	⇒	⇒	基本施策13 展開方向2
41	大学生等海外留 学奨学金支給事 業(こども夢・チャ レンジ推進事業) 【こども政策課】	11,700	実施	⇒	⇒	基本施策13 展開方向2
42	こども夢サポー ター制度(こども夢 ・チャレンジ推進事 業) 【こども政策課】	1,720	実施	⇒	⇒	基本施策13 展開方向2
43	児童館の英語事 業(一般事務事 業・児童館管理 運営委託事業) 【こども政策課】	2,904	実施	⇒	⇒	基本施策13 展開方向2
52	こども夢・チャ レンジ カップU-12(小牧 市長杯)開催事 業(生涯スポーツ 推進事業) 【スポーツ推進課】	3,500	拡充 実施	⇒	⇒	基本施策14 展開方向1
54	こども夢・チャ レンジ 文化事業(自主 文化事業) 【文化振興課】	9,000	実施	⇒	⇒	基本施策15 展開方向1

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画 での位置づけ
102	中学生まちづくり ーティング(広聴事 業) 【広報広聴課】	60	実施	⇒	⇒	基本施策 31 展開方向 1
103	こどもレポーター事 業(広報等作成 事業) 【広報広聴課】	348	実施			基本施策 31 展開方向 1

## 拡充

# 夢育み事業

子ども未来部	子ども政策課
市長公室	広報広聴課
教育委員会	学校教育課
	文化振興課
	スポーツ推進課

1 予算額 18,254千円

2 目的及び効果 「子ども夢・チャレンジNo.1都市」の実現に向けて、子どもの夢を育み、夢へのチャレンジを応援する事業を展開し、広くその情報を共有することで、世代を越えて つながるまちづくりを進めます。

### 3 事業概要

**新規** 子ども夢サポーター制度 630千円

市と共に子どもの夢を応援していただける団体・企業に「子ども夢サポーター」として登録していただき、「コマキッズドリームプロジェクト」を支援する仕組みをつくります。

**拡充** 市内産業見学会開催事業 346千円

夏休みに市内企業見学や、市内産業体験を行います。  
1グループ20人、2コース程度(最大3コース)を実施します。  
【対象】 小学校5・6年生、中学生

児童館の英語事業 968千円

市内8児童館で、英語に親しむ講座を開催します。  
【対象】 幼児親子、未就学児、小学生

コマキッズ ドリームバスギャラリー 300千円

ピーチバス、巡回バスの車内に、こどもの描いた絵を掲示し、こどもの夢を共有する機会とします。

夢にチャレンジ助成金支給事業 1,949千円

自分がチャレンジしたい内容をプレゼンし、優秀者に希望額を助成します。

【対象】 25歳以下。高校・大学等に在籍している方。

【助成額】 上限30万円

【チャレンジ内容の例】 海外語学研修、体験研修、  
インターンシップ、ボランティアなど

大学生等海外留学奨学金支給事業 2,993千円

海外の大学に、3か月以上留学しようとする大学生等に奨学金を支給します。

【対象】 25歳以下。国内の大学等に在学し、語学力が基準を満たす方。本人もしくは、保護者が1年以上住民登録など。

【助成額】 留学先の国・地域に応じて、12回を上限として、月額3～5万円を支給。

**新規** こどもレポーター事業 348千円

小学生の「こどもレポーター」を公募し、夏休みに市内での取材及び紙面編集を体験することにより、市政への関心を高める機会とします。こどもレポーターの記事は、広報こまきへの掲載の他、市内全小学校に壁新聞として掲示します。

【対象】 市内在住の小学生

**新規** 中学生まちづくりミーティング 20千円

グループワークなどを通して、主体的に「まちづくり」について考えるきっかけとし、社会性を育みます。

**JFAこころのプロジェクト「夢の教室」開催事業 6,000千円**

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」(日本サッカー協会)のカリキュラムにより、様々なスポーツ選手が「夢先生」となり、「夢の教室」と題した90分の授業を学校で実施し、前半は、体を動かす「ゲームの時間」、後半は「夢先生」の体験談を語る「トークの時間」を行い、こどもたちの精神的な成長を図ります。

【対象】 市内全小学校の5年生

こども夢・チャレンジ文化事業 3,200千円

【こども創造事業】 小牧山史跡公園を中心とした伝承遊びや親子ラリーの開催、中高生による「自分たちで考えるまちづくり」など、こどもが自ら考え、挑戦する機会を提供します。

【小牧戦国少女隊活動事業】 市のイベントなどにおいて、歌とダンスで小牧の魅力を発信する、小牧戦国少女隊の活動を支援します。

【舞台芸術祭発表事業】 演劇やミュージカルなど様々なジャンルで活動する市民団体が主体となり、こどもや若い世代に発表の機会をつくります。

拡充 こども夢・チャレンジカップU-12(小牧市長杯)開催事業 1,500千円

海外有名クラブによる国内各地のジュニアサッカースクールを招聘し、5月に小牧市スポーツ公園サッカーグラウンドで交流大会を開催します。



## 戦略2 次世代成長産業を含む バランスの良い産業集積の形成

『元気創造都市』の実現に向けた戦略として、次世代成長産業を含むバランスの良い産業集積を持続的に高め、さらに経済・雇用・財政の基盤が確立された活力あるまちを目指します。

### ◆重点事業

#### 重点事業2-1 企業立地の推進

企業立地相談のワンストップ窓口化や、本市への立地のインセンティブとなる魅力ある企業立地促進制度の充実を図るとともに、新たな工業団地の開発や土地利用規制の緩和、用地情報収集など企業誘致の受け皿を整備した上で、積極的な誘致活動を行い、次世代成長産業分野を中心に新規企業を誘致します。

事業の進捗状況を 測定するための指標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目標値
							H30
次世代成長産業分野に 属する新規企業の累計数	件	0	1				3

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画 での位置づけ
63	企業立地推進事業 【企業立地推進課】	1,240,000	実施	⇒	⇒	基本施策20 展開方向1

## 企業立地推進事業

地域活性化営業部 企業立地推進課

1 予算額 448,861千円

2 目的及び効果 企業立地の推進を図ることにより、地域経済をより豊かにし、雇用力を高め、地域の活性化を図るとともに、財源の確保につなげ、より安定した財政基盤を確立することで、産業都市「小牧」の力を持続的に高めます。

### 3 事業概要

○小牧市内企業再投資促進補助事業 110,000千円

愛知県の補助制度と連携し、市内に立地する企業の再投資を支援します。

補助対象	20年以上、市内に立地する工場等を有する企業で、工場、研究所の新增設等を行う企業
対象経費	固定資産取得費用(土地を除く)
補助率	10%以内(県支援分は5%以内)
限度額	10億円(県支援分は5億円)

※ 新增設に伴う、インフラ(道路・水路・水道施設)整備に要する経費の一部を補助する支援制度もあります。



## ○小牧市企業立地促進補助事業 323,861千円

市内に一定規模以上の工場等を立地する企業に対し、優遇制度として補助金を交付します。

	工場等新增設事業	既存工場等入居事業
補助金の額	新設又は増設した工場等に係る固定資産評価額に8%(市外からの企業は12%)を乗じて得た額以内	工場等に入居をするに伴い新たに取得した構築物、機械及び装置に係る償却資産の固定資産評価額に8%(市外からの企業は12%)を乗じて得た額以内
最高限度額	1億5,000万円	1,500万円

※住・工混在移転、航空宇宙関連、次世代成長産業のいずれかに該当する場合は補助率を2%上乘せします。

## ○小牧市中小企業環境保全対策設備等

導入補助事業 15,000千円

周辺の生活環境を保全する効果が見込まれる「騒音・振動・臭気」を低減する設備の新規導入又は改修等を行う中小企業に対し、補助金を交付します。

補助対象	市内に立地している製造業などの中小企業
対象経費	設備の導入又は改修にかかる費用
補助率	対象経費の50%以内
限度額	500万円



## 戦略3 在宅医療・介護、見守り体制の構築

『支え合い共生都市』の実現に向けた戦略として、高齢者が住み慣れた地域の中で安心して介護サービスや医療サービスを切れ目なく受けることができるよう、在宅医療・介護提供体制を充実するとともに、高齢者等の見守りを強化します。

### ◆重点事業

#### 重点事業3-1 在宅医療の推進

医療・看護・介護等の関係機関との連携を密にして、患者本人や家族、市民への在宅医療に関する情報提供や啓発を行い、また相談窓口体制を強化して、在宅医療の利用者を増やすとともに、在宅医療・介護体制を充実します。

事業の進捗状況を測定するための指標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目標値
							H30
在宅で医療を受けている市民の数	人	286	—				480
在宅で看取りを受けた市民の数	人	—	—				200

番号	事業名	H28~H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画 での位置づけ
17	在宅医療推進事業 【地域福祉課】	22,000	実施	⇒		基本施策7 展開方向1

## 在宅医療推進事業

健康福祉部 地域福祉課

1 予算額 11,000千円

2 目的及び効果 医療や介護が必要になっても、可能な限り自宅等の住み慣れた地域で安心して自分らしい生活が続けられるよう、介護と連携した医療の提供など、多職種による切れ目のないサービスを提供できる体制の構築により、在宅医療を推進します。

### 3 事業概要

#### ○在宅医療サポートセンター運営補助事業

小牧市医師会在宅医療サポートセンターが行う市民や開業医等からの在宅医療に関する相談、かかりつけ医の普及啓発や訪問診療導入研修など在宅医療に参入する医師確保のための取組みに対し、支援を行います。

＜参考＞介護保険事業特別会計で実施する事業  
(在宅医療・介護連携推進事業)

- 啓発事業
  - ・講演会の開催
  - ・市民アンケートの実施
- 多職種連携事業
  - ・在宅医療・介護連携の課題の抽出や推進のための対応を検討する協議会の開催
  - ・医療職員・介護職員等の多職種を対象とした合同研修の開催
- 医療・介護資源の把握事業
  - ・歯科、薬科、介護事業者アンケートの実施
  - ・資源マップ作成



## 戦略4 “元気”と“支え合い”の地域循環による 「都市の活力」と「暮らしの安心」の創造

まちづくりを進める上では、「都市の活力」と「暮らしの安心」の両方が必要です。

「都市の活力」とは、地域経済であり、市の財政力であり、地域を動かす市民のパワー等です。「都市の活力」があつてこそ、「暮らしの安心」を支える地域福祉の充実や市民のさまざまな助け合い活動が実現できます。さらに、「暮らしの安心」を支える諸活動は地域力となり、再び「都市の活力」につながっていきます。

小牧市は、「都市の活力」と「暮らしの安心」を都市運営の両輪として、双方がともに充実し、地域で上手く循環するまちを目指します。

そこで、市は市民が地域で主体的に活躍できる環境づくりを支援し、「暮らしの安心」を支える地域での支え合い助け合い活動を促進することと合わせて、さらに、それが市民の健康・いきがづくりや地域経済の活性化にも結び付き、「都市の活力」の創造につながって循環していく仕組みづくりを進めます。

## ◆重点事業

**重点事業4-1 (仮称)ありがとう地域ポイント制度の創設**

地域循環を生み出す仕組みとして、市民の支え合い活動などに対して付与したポイントで、市の公共施設・サービスを利用したり、市内限定商品券に引き換えることができる「(仮称)ありがとう地域ポイント制度」を創設します。

事業の進捗状況を測定するための指標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目標値
							H30
1年間に地域活動ポイントを受け取った人の数 ※	人	-	-				-

※目標値は、制度設計中のため「-」。制度創設後に設定します。

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画 での位置づけ
23	(仮称)ありがとう地域ポイント事業 (地域協議会創設事業) 【協働推進課】	- (注9)	検討 試行	- (注10)	- (注10)	基本施策 10 展開方向 1

(注9)事業費欄を「-」としてある事業は、平成28年度に平成29年度以降の事業費を検討していくものです。

(注10)平成29年度・30年度の実施内容は、平成28年度の検討・試行結果によります。

## 重点事業4-2 市内限定商品券の流通拡大

地域経済、特に市内中小商業・サービス業の活性化を支援するため、市内限定商品券の流通インフラを構築・維持し、地域循環の経済的トリガーとして、「(仮称)ありがとう地域ポイント制度」をはじめ、公共セクションにおいてさまざまな機会を捉えて市内限定商品券を積極的に活用します。

事業の進捗状況を測定するための指標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目標値
							H30
市内でプレミアム商品券が使える店舗数	店	588	621				633

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画 での位置づけ
67	こまきプレミアム商品券発行助成事業 【商工振興課】	360,000	実施	⇒	⇒	基本施策20 展開方向2

## こまきプレミアム商品券発行助成事業

地域活性化営業部 商工振興課

- 1 予算額 116,000千円
- 2 目的及び効果 小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」に対して補助を行い、市民生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図ります。
- 3 事業概要 平成23年度から小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」について、平成28年度は発行回数を年1回に見直し、総額11億円分のプレミアム商品券を発行することで、より多くの方に商品券をご活用いただけるよう引き続き実施します。
- また、商品券は、魅力ある商品・サービス、並びに生活必需品を提供する店舗で多く利用されることから、一店逸品運動の実施とその広報活動を支援することにより、商品券の利用価値を高めていきます。

え〜なも券



小牧市マスコットキャラクター  
「こまき山」

い〜なも券



【小牧発祥】名古屋コーチン  
PRキャラクター「こまちゃん」

### 重点事業4-3 地域協議会の設立による地域活動の活性化

地域循環の力を、経済活力に加えて地域の連携に結び付け、地域の絆を強化し、地域活動を活性化し、支え合い助け合いの地域づくりを推進するため、小学校区を基本単位として、区長をはじめ民生児童委員や保健連絡員、子ども会や老人会などの横断的な連携が機能する新しいコミュニティ組織として、「地域協議会」を創設します。

事業の進捗状況を測定するための指標	単位	基準値	H26	H27	H28	H29	目標値
							H30
地域協議会が組織された数	組織	1 (H26年度)	1				16

番号	事業名	H28～H30 事業費 (千円)	28 年度	29 年度	30 年度	分野別計画 での位置づけ
100	地域協議会創設 事業 【協働推進課】	40,800	協議会 創設	⇒	⇒	基本施策30 展開方向2

## 地域協議会創設事業

市長公室 協働推進課

1 予 算 額 14,034千円

2 目 的 近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区(自治会)やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指します。

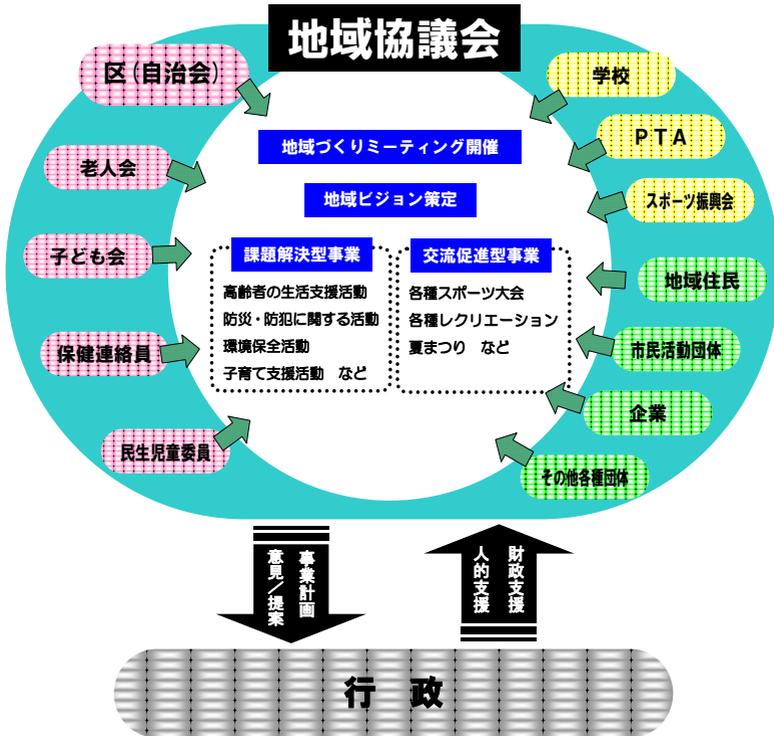
3 効 果

- ◆意識高揚 ～誇りと愛着のある地域づくり～
- ◆相互補完 ～相乗効果を生み出す地域づくり～
- ◆課題解決 ～自ら取り組む特性を活かした地域づくり～

4 事業概要

- 地域協議会への財政支援及び人的支援  
地域助け合い交付金、市職員による地域パートナー制度など
- 設立に向けた機運の醸成  
講演会、勉強会の開催など
- 必要に応じた制度の見直し  
地域協議会市民会議の開催

## 【地域協議会のイメージ】



### 陶小学校区地域協議会

～避難所運営ゲーム（HUG）～



### 篠岡小学校区地域協議会

～話し合いの様子～

